

湖西市内での活動

当選以来、多くの市民の皆様からたくさんのご意見やご要望をいただいております。また、市内で行われる様々なイベントにもお招きいただき、ありがとうございます。今後も全方位的に動いてたくさんの市民にお会いし、皆様の声にお応えできるよう頑張ります。特に、道路や河川などインフラ整備や維持管理については、皆様からのご要望が多いので、土木技術者としての知識と経験を生かして貢献できるように取り組みます。

また、交通量の多い交差点に立って子供たちの通学見守りを行っています。朝は忙しくて車の運転も急ぎがちですが、一人一人が交通安全を意識して運転し、事故のない街になることを願います。



賀詞交歓会での祝辞



消防出初式での祝辞



朝の交差点見守り活動



道路安全対策（古見地区）

Profile

昭和51年（1976年）湖西市生まれ 東小学校卒業、湖西中学校卒業
浜松西高校卒業、横浜国立大学工学部卒業、政策研究大学院大学（修士課程）修了
JICA 青年海外協力隊参加（ブータン）、（株）オリエンタルコンサルタンツグローバル勤務、株式会社コサイコンサルタンツ 代表取締役、技術士（建設部門・道路）、
NPO 法人ハピネス湖西 理事長（前向花畑の管理人）
静岡県議会議員（1期目：県議会会派ふじのくに県民クラブ所属）



皆さまの「声」をお聞かせください！

- お住いの地域や日常生活でのお困りごと（例：道路、交通安全、防犯、防災、社会福祉、教育など）、管轄が市なのか県なのかよく分からない場合でもご相談ください。自治会や市議会議員さん等とも連携して課題に取り組みます。
- ご連絡は、右の二次元コードをスマホ等で読み取り後、入力フォームに必要事項を入力してください。その他、メール、電話、FAXでもお受けいたします。

※こちらから返信や回答をお送りしますので、お名前と連絡先（電話番号、メールアドレス）をご記入ください。匿名でのご連絡はご遠慮ください。

ご意見・ご要望は
こちら！



菅沼やすひさ事務所

〒431-0441 湖西市吉美 3257 コサイグリーンビル A-2H号室

※湖西市役所西側の2階建建物の2階です。

TEL.053-543-5758 FAX.053-543-5759 ✉ suganuma.kosai@gmail.com

開所時間 / 平日 9:00~12:00（土日祝、年末年始はお休みします）

SNSでも発信しています



ホームページ



Facebook



Instagram

おれんじ
通信
Vol.2

2025年3月

「県政を身近に！」 動く男。県政レポート！

静岡県議会議員

菅沼 泰久

すがぬま

やすひさ

動く男。



【ごあいさつ】

静岡県議会議員の菅沼泰久です。昨年11月に始動してから、早いもので4か月が過ぎました。県議会2月定例会では、人生初の一般質問で登壇させていただきました。長引く物価高騰の影響や不安定な世界情勢など、私たちの暮らしを取り巻く環境はますます厳しくなっています。静岡県は、限られた財源を有効活用しながら県民の幸福度向上を目指すという、とても難しいかじ取りを迫られています。無駄な予算をカットして財政健全化を目指すことはもちろん重要ですが、緊縮財政を急ぐあまり社会インフラ整備などの必要な予算を安易に削ってしまうことがないよう、県の執行機関に対する監視機能としての役割を果たしたいと思っています。

4月から新しい年度が始まります。初心を忘れず、謙虚さと大胆さを大切にしながら、故郷のために貢献できるように頑張りたいと思います！

主な活動報告

県議会 2月定例会

2/18～3/17まで開催され、一般会計の総額で過去最大となる新年度当初予算案など、計90議案が知事から提出されました。議案は各常任委員会で審議され、報告・採択を経て全ての議案が可決されました。私は2/27に一般質問を行い、5つの項目について県の考えを問いました（詳細は中面）。



常任委員会

令和6年度は「文化観光委員会」に所属して活動しました。富士山登山規制、スポーツ振興、観光振興、教育に関する大綱の策定など、県の今後の発展に重要な事項が盛りだくさんで、静岡県が持つ豊富な地域資源の活用について、関係者間で良い議論ができました。



所属会派「ふじのくに県民クラブ」の活動

県議会第2会派（計17名）の「ふじのくに県民クラブ」に所属して活動しています。私たちの会派は、政党政治にとられない、真に地方の時代にふさわしい県民本位の議会運営を目指す政策集団です。素晴らしい仲間の皆さんと共に、勉強会や先進事例の視察など、様々な機会を通して議員としての資質向上や仲間の絆の強化を行っています。



ラジオ出演（毎月第一木曜日夜7時～）

FMハロー（浜松エフエム放送：76.1MHz）の「KENGI DE Night!」に、会派の仲間と共に出演しています。私の担当は、毎月第1木曜日の夜7時～7時30分です。県議の活動や県の取り組みなど、県政を身近に感じていただけるように発信します！ライブ配信は右の二次元コードからもご視聴できます。



ライブ配信は
こちらから



【特集】 県議会 令和7年2月定例会(2/18~3/17) 一般質問

Q1. 静岡県のブランドイメージの確立について

県の強みや弱みについて要因分析を行い、経営資源を最適活用する「マーケティング」が重要であるが、県のマーケティング戦略は各部署で個別に行われており、統一的なブランディングが不足している。県のブランドイメージの確立のための県の取組は？



A. ブランドイメージの確立は、本県の考える県政の方向性について、県民の皆様と県の取組を共有し、国内外の皆様の共感を得る上で、重要な考え方であると認識しております。来年度策定する次期総合計画の目指す姿である「幸福度日本一」を踏まえ、本県の魅力や政策を端的に伝える広報に取り組むなど、分かりやすい情報発信に努めてまいります。

今後は、静岡県の魅力を国内外に発信し、本県の認知度と魅力度を高めるための広報に努め、「幸福度日本一の静岡県」の実現を目指してまいります。

【菅沼からの要望】

県庁内を部局横断的に統括し、司令塔の役割を果たすことができる組織が、次期総合計画の内容を踏まえながらブランディングに取り組んでほしい。

Q2. 健康寿命日本一を維持する取組について

昨年の静岡県の健康寿命は男女ともに全国1位であった。一方で、脳卒中による死亡者が多く、また特定健診の受診率が目標値を下回っているなどの課題がある。今後も引き続き県民の健康寿命の延伸を図り、健康寿命日本一を維持していくための県の取組は？



A. 本県の健康寿命の更なる延伸には、脳卒中の発症予防や、生活習慣病の早期発見・早期治療につながる特定健診の受診率の向上が重要な課題と認識しています。脳卒中の発症予防については、「静岡ウェルネスプロジェクト」を来年度から新たにスタートし、リスク要因の1つである高血圧に着目して、食生活の改善や血圧測定の実践化等の取組を加速させます。

特定健診の受診率の向上については、民間事業者のノウハウを活用し、受診率の向上に成果を上げている成果報酬型契約方式を導入して、複数の市町と共同して取り組むモデル事業を始めます。そこで得られたノウハウを、他の市町等に共有を図り、県内全体の受診率の向上につなげます。

Q3. 富裕層をターゲットにした観光誘客について

先月、静岡県未来創造会議から知事に手交された提言書の中で、観光に関して富裕層の呼び込みを強化することが求められた。富士山や温泉、豊かな食材など、静岡県特有の地域資源を有効活用しながら、富裕層旅行者の誘客をさらに強化するための県の取組は？



A. 高級宿泊施設の誘致及び富裕層旅行者向けの商品造成に力を入れます。高級宿泊施設の誘致については、本年度からラグジュアリーホテルの誘致に向けた取組（勉強会や立地候補地など）を開始しており、来年度は、候補地の情報など、投資判断に必要な情報をまとめたセールスシートを作成して営業活動を行うとともに、開発事業者等からの問合せに一元的に対応

するため、県庁内にワンストップ窓口を設置します。

富裕層旅行者向けの商品造成については、富士山を眺望するエリアでのゴルフやシーカヤックなど、特別感のあるコンテンツを造成し、富裕層向けの旅行商品を取り扱う専門のコンソーシアムへの売り込みを行います。さらに、富裕層旅行者の満足度の向上のため、質の高い通訳ガイドの育成にも新たに取り組みます。



一般質問の録画データはこちらの二次元コードからご覧になれます



Q4. 湖西市内の道路整備について

(1) 浜松湖西豊橋道路の実現に向けた県の取組について

産業の活性化や観光振興、地域活性化のため、浜松湖西豊橋道路の実現には地域住民も大きな期待と高い関心を寄せている。浜松湖西豊橋道路の実現に向けた県の取組は？



A1. 現在、県と浜松市が環境影響評価及び都市計画決定の手続きを進めています。環境影響評価については、準備書作成に必要な調査方法の検討を行っており、都市計画決定については、住民説明会で提示する計画原案の作成に取り組んでいます。また、湖西市と連携し、市内に設置予定のインターチェンジへの

アクセス道路の検討も進めています。

本年1月7日には、関係市町村と経済団体で構成する建設促進期成同盟会に、愛知県とともに加入しました。同盟会の活動を通じて、今後も関係者が一丸となって本道路の必要性を国へ伝え、早期事業化を働き掛けてまいります。

(2) 湖西市内の道路ネットワークについて

新規幹線道路計画等を考慮した湖西市内の今後の道路ネットワーク計画に関する県の考えは？また、バッテリーロード未開通区間の早期整備に向けて県と市との連携が求められる中、未開通区間の進捗状況は？

A2. 湖西市を含む県西部地域については、令和4年度から国や市町等と組織する協議会において、都市交通マスタープランの見直し内容を検討しています。令和7年度中に、アクセス道路を含む浜松湖西豊橋道路やバッテリーロード開通後の交通量等の変化に対応した新たな道路ネットワーク計画を策定いたします。

またバッテリーロードについては、未開通区間 1.1kmのうち、南側の0.5km区間は、土地区画整理事業により令和12年度の完成を目指して整備が進められてい

ます。残る0.6km区間は街路事業により、県が北側を、湖西市が南側を整備することとしており、事業区間について具体的に調整した上で、速やかに事業着手の手続きを進めます。

【菅沼からの要望】

バッテリーロードの未開通区間の早期整備は喫緊の課題。来年度、市に新設される都市政策課と県とが緊密に連携しながら事業を推進してほしい。

Q5. 今後の優良農地の保全について

農業の担い手不足や農業施設の老朽化等により、過去に圃場整備された優良農地においても荒廃農地が年々増加している。湖西市では、県内初の取り組みである湖西農資源保全団体(KARCO)が立ち上がる予定であるが、県として今後どのように県内の優良農地の保全を行っていくのか？



A. 湖西市の取組(=KARCO)により人材の確保や事務の統合による効率化が見込まれ、湖西用水土地改良区が農地の保全にも関与できるため、地域農業にとって有効です。また県内の全ての土地改良区において、本年度までに財務分析を完了し、経営の健全

化に向けた取組を進めています。中には湖西市の事例のように、地域活動に意欲を示す土地改良区もあるため、土地改良区の有する人材や技術を地域活動に活かすことで、優良農地を保全する体制を構築します。

【再質問】 今、各市町で「地域計画」が策定されているが、総バ事業で整備した青地農地でも、将来的な担い手がどうしても見つからず、地域の話し合いがうまく進まない事例もあると思う。こうした農地でのプラン策定について、県として具体的にどのような支援を行うのか？

A. 県では農業法人の誘致や都会からの新規就農希望者など、多様な担い手を参入させることで優良農地を保全したいと考えています。

動く男